

第37回 全国母子生活支援施設職員研修会

開催要項

1. テーマ

「職員の支援力の向上による母子生活支援施設の機能充実をめざして」

2. 趣 旨

平成27年4月より子ども・子育て支援新制度が施行されました。ひとり親家庭や子どもの貧困等、様々な課題が浮き彫りとなりその対応が求められるなか、新たな施策・制度が進められています。

母子生活支援施設においても、「運営ハンドブック」の作成により、その役割や支援の内容が明確にされ、更に「私たちのめざす母子生活支援施設（ビジョン）」によって中長期的な将来を見据えたあるべき姿について提言がまとめられました。また、第三者評価が一巡し、その結果を踏まえた適切な支援・運営が求められています。

本研修会では、私たちを取り巻く状況や施策が大きく変化しようとしている今、母と子を現場で支える職員としての資質と実践の更なる向上をめざし、全国の職員と共に学びます。

3. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国母子生活支援施設協議会

4. 日 程 平成27年6月17（水）～19日（金）

5. 会 場 「KKRホテル大阪」3階「銀河」他
〒540-0007 大阪市中央区馬場町2-24
電話 06-6941-1122（代表）

6. 対 象 母子生活支援施設職員（母子支援員、少年指導員、保育士、施設長、等）

7. 参加費 15,000円（税込み）※宿泊・昼食・交流会費用は別途

8. 定 員 160名

9. 日程、プログラム

1日目：6月17日（水）

13：00～13：30	受付
13：30～13：45	開会・オリエンテーション
13：45～14：45	【行政説明】 厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課
14：45～14：55	休憩
14：55～15：55	【基調報告】 全国母子生活支援施設協議会 会長
15：55～16：15	休憩
16：15～18：00	【セッション】 「福祉サービス第三者評価受審の取り組み」 コーディネーター 菅田 賢治（全国母子生活支援施設協議会） 報告者 近畿、中国・四国、九州ブロックより施設長3名 第三者評価が義務化され、3年に1度の受審一巡後の結果を受けての改善点等について、西日本より3名の施設長に実践報告をしていただきます。施設間の支援の格差解消のため、平成26年度第三者評価基準の改定等を踏まえ、今後の適切な支援、運営、受審の取り組み等について学びます。また、同年度に発刊された「母子生活支援施設運営ハンドブック」の活用について編集委員長として携わった菅田賢治より解説いたします。
18：40～20：00	【交流会】※希望者のみ

2日目：6月18日（木）

9：30～17：00	<p>【分科会】</p> <p>■第1分科会（主として初任職員を対象とした対人援助技術の演習） 「職員に求められるソーシャルワークの基本を学ぶ」（仮題） 講師 中島 尚美 氏（大阪市立大学大学院 生活科学研究科 特任講師）</p> <p>母子生活支援施設職員に求められる基礎的な知識として、生活に課題のある家族への支援の基本と、相談・支援の技術を学びます。</p> <p>■第2分科会 「発達障害等により生活に課題がある児童の支援を学ぶ」 講師 志村 浩二 氏（浜松学院大学短期大学部 准教授）</p> <p>発達障害等により生活に課題があり、母親や職員との関わりが難しい児童を支援する際の、理解の視点や支援の姿勢などを学びます。</p> <p>■第3分科会 「家族関係支援のスーパービジョンを学ぶ」（仮題） 講師 村井 美紀 氏（東京国際大学 人間社会学部 准教授）</p> <p>支援の質の維持、向上のため、施設でのケース検討や後輩職員の指導等の際に必要なスーパービジョンの基本や実践を学びます。</p>
------------	--

3日目：6月19日（金）

9：30～11：30	<p>【講義】 「これからの母子生活支援施設のあり方」（仮題） 講師 山辺 朗子 氏（龍谷大学 社会学部 臨床福祉学科 教授）</p> <p>平成 25～26 年度「私たちの母子生活支援施設」（ビジョン）策定特別委員会 委員として取りまとめられた報告書にある「切れ目のない支援」「アウトリーチ」等要点についての解説と、現場で支援に携わるものとして、何をめざし、どのような役割を果たしていくべきか、今後の母子生活支援施設のあり方について学びます。</p>
11：30～11：40	閉会あいさつ・終了

【タイムテーブル】

			13:00	13:30	13:45		15:55	16:15		18:00	18:40	20:00
17日 (水)			受付	開 会	行政説明 基調報告	休 憩	セッション				交流会	
18日 (木)	分科会	昼 食	分科会									
19日 (金)	講義	閉 会										
	9:30	11:30	11:40							17:00		

10. 参加申し込み及び宿泊・交流会申し込みについて

- (1) 別添の「参加・宿泊申込書」に必要事項を記入のうえ、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店まで、郵送またはFAXにてお申し込みください。**5月22日（金）必着、先着順**といたします。
- (2) 2日目の分科会については必ず第2希望までご記入ください。研修会場の定員の関係上、調整させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (3) 研修会参加者には、参加申込受付後6月上旬をめどに、研修参加券・懇談会参加券・昼食券、交通案内等をお送りします。研修会当日に忘れずご持参ください。
- (4) 費用入金後にキャンセルいただいた場合には、研修会参加費の返金はいたしかねます。宿泊・交流会・昼食のキャンセルにつきましては、別途記載の所定の取消料をいただきますことをご了承ください。

11. 個人情報の取扱いについて

- (1) 個人情報の利用について

参加申込書に記載された個人情報については、全社協児童福祉部（事務局）と名鉄観光サービス(株)新霞が関支店（担当旅行代理店）、KKRホテル大阪（研修会場）において、参加申込受付・管理、参加にあたり希望される宿泊等のサービス提供等、本研修会の運営に必要な範囲内で共有し使用いたします。

(2) 参加者名簿の作成について

本研修会参加者の交流を図るため、参加申込書に記載された情報をもとに、参加者名簿（都道府県名・所属施設名・役職名・氏名）を作成し、当日参加者に配布いたします。

12. お問い合わせ先

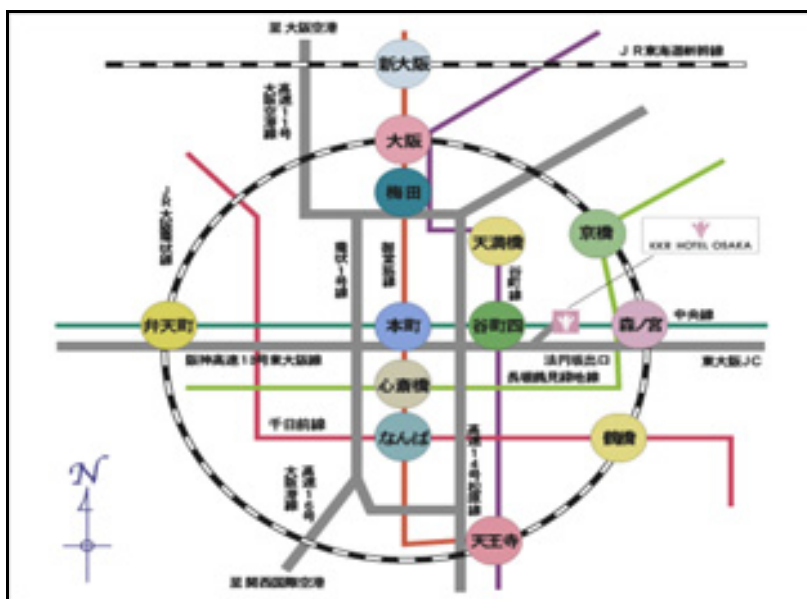
〔研修内容に関するお問い合わせ先〕

全国母子生活支援施設協議会事務局（担当：吉田）
〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル
全国社会福祉協議会 児童福祉部内
TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

〔参加申込み、宿泊・交流会・昼食申込みに関するお問い合わせ先〕

名鉄観光サービス(株)新霞が関支店（担当：波多野）
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルLB階
TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119

【会場へのアクセス】



<交通アクセス>

- JR大阪環状線・地下鉄中央線・長堀鶴見緑地線「森ノ宮駅」から徒歩10分
- 地下鉄中央線・谷町線「谷町四丁目駅」から徒歩10分
- JR新大阪駅から大阪乗り換え環状線

第37回 全国母子生活支援施設職員研修会

参加・交流会・昼食・宿泊のご案内

●開催期日 平成27年6月17日(水)～19日(金)

●参加費 15,000円

●宿泊のご案内 (宿泊設定日) 平成27年6月17日(水)・18日(木)

宿泊施設	申込記号	部屋タイプ	宿泊料金 (1泊あたり)	最寄駅
KKRホテル大阪 (研修会場ホテル)	A-1	シングル (1室1名利用)	8,700円	・JR大阪環状線、地下鉄中央線、 長堀鶴見緑地線「森ノ宮駅」徒歩10分 ・地下鉄中央線・谷町線 「谷町四丁目駅」徒歩10分
	A-2	ツイン (1室2名利用)	8,700円	
アパヴィラホテル 大阪谷町四丁目駅前 (研修会場より徒歩13分)	B-1	シングル	10,500円	・地下鉄中央線・谷町線 「谷町四丁目駅」徒歩1分

※表示の料金は朝食付、税金・サービス料を含むお一人様1泊あたりの金額です。

※部屋数に限りがございますので先着順での受付とさせていただきます。予めご了承ください。

●交流会のご案内 6月17日(水)・研修1日目 <お一人様> 7,000円(税込)

●昼食(弁当)のご案内 6月18日(木)・研修2日目 <お一人様> 1,300円(税込)

●申込・送金方法

- ・申込書に必要事項をご記入の上FAXにて名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までお申込みください。
- ・研修参加のみお申込み(宿泊、交流会、昼食の申込をされない)の場合でも、申込書に必要事項をご記入の上お申込みください。
- ・申込締切日以降6月上旬をめぐりに参加券類及び振込依頼書をご郵送させていただきます。到着後送金のお手続きをお願いします。

●申込締切日 平成27年5月22日(金)

- ・先着順にて申込受付をさせていただきます。
- ・締切日以前でも定員に達した時点で受付を終了させていただきます。予めご了承ください。

●申込後の変更・取消について

- ・変更、取消が発生した場合は必ずお申込みの際の申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上、再度名鉄観光サービス新霞が関支店までFAXにてご連絡ください。
- ・宿泊、交流会、昼食をお取消の場合、取消日により下記の取消料を申し受けます。ご了承ください。

取消日	14～8日前	7～2日前	前日	当日 12:00まで	当日12:00以降 および無連絡
宿泊	20%	30%	40%	50%	100%
交流会 昼食	6/9まで…無料 6/10以降…全額				

- ・参加費の扱いにつきましては開催要項記載の通りとなります。
- ・受付時間外の変更・取消のご連絡は、翌営業日の受付扱いとなります。

お申込・問合せ先

名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当 波多野・山辺
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビルL B階
電話 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119
受付時間 平日 9:30～17:30 ※土日祝日は休業とさせていただきます。

第37回 全国母子生活支援施設職員研修会

参加・交流会・昼食・宿泊申込書 H27.6.17-19開催

申込締切日 5月22日(金)

定員 160名(先着順での受付となります)

新規申込

内容変更

参加取消

●研修参加申込

		申込日		月	日
都道府県		所属施設名			
参加者氏名	フリガナ		職名		
	氏名			母子生活支援施設における 経験年数	年
施設所在地	郵便番号		～ 郵便番号・住所は正確にご記入ください ～		
	住 所				
	電話	FAX	申込担当者	様	

●2日目分科会(必ず第2希望までご記入ください)

第1希望	第	分科会
第2希望	第	分科会

分科会希望の際のご注意
第1分科会は「主として初任者」の方が対象です。

●交流会申込

6/17(水)・研修1日目	交流会参加費	7,000円	申込	する・しない
---------------	--------	--------	----	--------

●昼食(お弁当)申込

6/18(木)・研修2日目	昼食代	1,300円	申込	する・しない
---------------	-----	--------	----	--------

●宿泊申込 ※第2希望までご記入をお願いします。先着順での受付となります。

宿泊申込		宿泊日および泊数		同室者氏名(A-2ご希望の場合)
第1希望	第2希望	6月	日より(泊)	

●費用計算欄 申込内容に基づく費用計算をお願いします。

①研修参加費	②交流会参加費	③昼食代	④宿泊代	費用合計額(①～④合計)
15,000円	円	円	円×泊	円

◎費用のご送金について… 6月上旬をめどに参加券と併せて振込依頼書を送付します。到着後送金手続をお願いします。

お申込み先≫ FAX 03-3595-1119

添書は不要です

変更・取消のご連絡につきましては、本申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上再度FAXにてお願いします

名鉄観光サービス(株)新霞が関支店 電話 03-3595-1121 担当 波多野・山辺
受付時間 平日 9:30～17:30 ※土日祝日は休業とさせていただきます。